

## ニホンザル対策に関する広域連携

鳥獣被害対策支援センター 企画管理係 若澤英明

### 1. はじめに

ニホンザル（以下、「サル」という。）は日本の固有種で、群馬県でも古くから生息している。現在、群馬県内には少なくとも 81 群 3220 頭（平成 27 年度末）が生息しており、群馬県の生態系を構成する一役を担っている。19 年度頃から、群れ数や生息数が増加傾向にあり、近年出没が見られなかった地域にもサルが出没するようになってきている。その結果、人とサルとの間に軋轢が生じはじめ、農林業被害や生活被害の発生や増加をきっかけに、群馬県内各地で農林業被害対策（以下、「被害対策」という。）が取組まれてきた。しかし、サルは行政区画などの人の境界線と無関係に行動する。そのため、同一個体が複数の集落や市町村にまたがって被害が発生させている。こうした状況から、複数の集落や市町村を行き来することを意識した被害対策への取り組みが重要となっている。

群馬県では、27 年度からサルの被害対策を進めるため、サルが出没する市町村を 6 ブロックに分け広域連携を開始した。今回はサル対策に関する広域連携会議について報告する。

### 2. 広域連携会議について

群馬県内のサル被害がある 18 市町村（加害群定着有）、被害発生初期の 3 市町村（対策重点地域）の計 21 市町村を 6 ブロックに分け、サル被害対策のための広域連携会議を 27 年度より始めた。6 ブロックは遺伝的集団および群れの生息状況や行政区分等を加味して決めている（表 1、図 1）。

広域連携会議は、該当ブロック内の市町村の鳥獣害対策担当者に加え、県農業事務所、県(環境)森林事務所、県鳥獣被害対策支援センターの 4 者により実施している。現段階の連携内容としては、被害対策の進捗状況、今後の取り組み計画及び課題等、情報の共有を行っている。

### 3. 27-28 年度における広域連携会議の実施状況

27 年度は 6 月から 10 月にかけて 5 ブロック（県北部地域個体群-第Ⅲと第Ⅳブロック合同開催）で、28 年度は 9 月から 10 月にかけて 6 ブロックで広域連携会議を実施した。

27 年度は防護柵設置、生息環境管理、捕獲状況などの対策状況や課題の共有を図るとともに、27 年度事業を検討した。28 年度は 27 年度の実施内容に加え、27 年度計画の評価、近年増加している農林業被害に計上されない生活環境被害の情報共有を図った。加えて、統一した書式による生活環境被害も含めた被害状況の把握および共有を図り、継続的に被害状況の評価ができる場とした。



表1 広域連携会議における各ブロックと該当市町村

| ブロック名           | 該当市町村名                           |
|-----------------|----------------------------------|
| 県南西部地域個体群ブロック   | 神流町、上野村                          |
| 県西部地域個体群ブロック    | 高崎市、富岡市、下仁田町、安中市、南牧村、甘楽町         |
| 県北部地域個体群-第Ⅰブロック | 嬭恋村、東吾妻町、中之条町、長野原町、高山村、草津町、みなかみ町 |
| 県北部地域個体群-第Ⅱブロック | みなかみ町、沼田市                        |
| 県北部地域個体群-第Ⅲブロック | 沼田市、片品村、川場村、昭和村                  |
| 県北部地域個体群-第Ⅳブロック | 桐生市、みどり市                         |

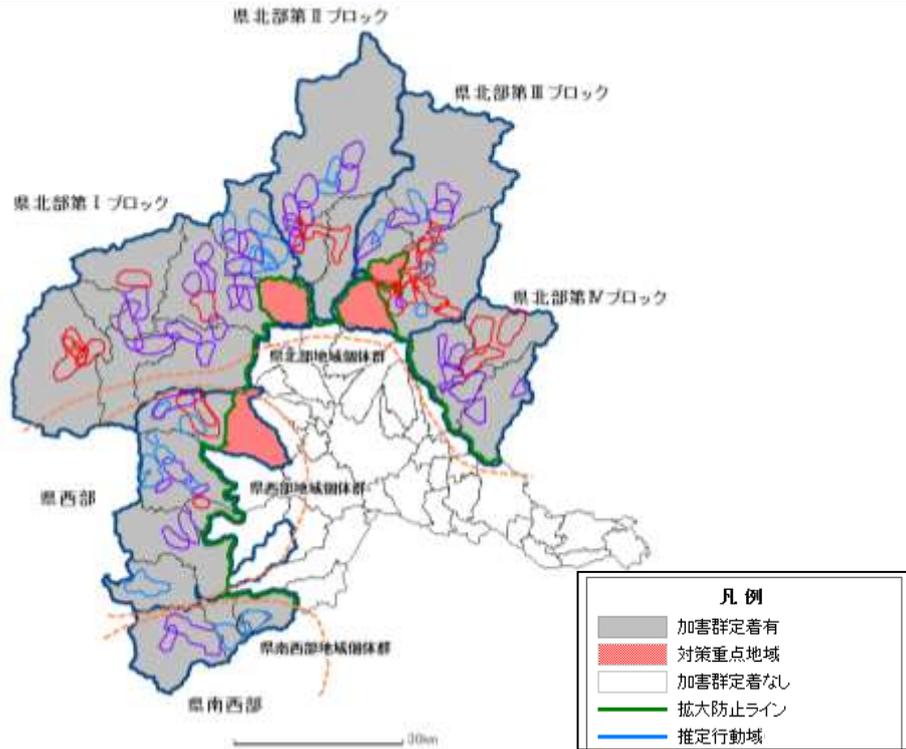


図1 群馬県内のサル生息状況と拡大防止ラインおよびブロック分け(平成28年6月時点)

#### 4. 課題と今後の方向性

被害軽減を実感できる対策につなげるためには、地域や行政区の枠組みを超えて、サルの生息状況、被害及び対策の状況などの基礎情報を把握した上で次の対策に取り組むことが重要となる。広域連携会議は、基礎情報の共有だけでなく、目標達成に向けて連携した事業を展開することにより、被害軽減および被害地域の拡大を防ぐ予防的対策にもつながる取組みだと考えている。

広域連携会議は28年度で2年目を迎えた。これまでの対策状況の共有に加え、対策の評価、被害金額に算定されない生活環境被害も含めた統一した被害状況の評価基準を定めたところである。今後、現状把握および評価を進め、具体的な対策に結びつけていくことが重要な課題となっている。

今後は、サル以外の鳥獣による被害対策についても広域連携による取組みを広げ、県内各地域における鳥獣被害を少しでも軽減していけるよう進めていきたい。

キーワード：ニホンザル、広域連携、被害対策、群馬県